

研究奨励賞	観測と衛星搭載装置開発の二刀流で切り込む 活動銀河核セントラルエンジン	野田博文	626
	ブラックホール天体での宇宙線加速と高エネルギー放射	木村成生	637
天球儀	〈2022年度日本天文学会天体発見賞〉 SNSの投稿から発見された新星 GDS J1830235-135539	山本稔	647
シリーズ：天文学者たちの昭和	佐藤文隆氏ロングインタビュー 第9回：京都大学教授時代	高橋慶太郎	656
書評	宇宙はどのような姿をしているのか	勝田哲	666
雑報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Wave and Instability in the Solar Atmosphere (WISA) Meeting 2023</i>	吉久健朗	667
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>European Astronomical Society Annual Meeting 2023</i>	ケストヘイ ジョルト	668
年会	日本天文学会2024年春季年会のお知らせ		670
月報だより			677
2023年（第116巻）総目次			

【表紙画像説明】

X線分光撮像衛星 XRISM（クリズム）は、精密X線分光や広視野X線撮像によって宇宙の物質やエネルギーの流転に迫り、天体の進化の解明などを目的とした日本の7番目のX線天文衛星である。NASAやESAなどと密接に協力しながら開発が進み、2023年9月7日8時42分11秒（日本標準時）、H-IIA ロケット47号機によりJAXA種子島宇宙センターから打ち上げられた。そして、無事軌道に投入された。写真は、XRISMを搭載したH-IIAロケット47号機の打ち上げの瞬間（credit: JAXA）。

【今月の表紙デザイン】

「円盤」

あらゆる方法を試しても、円盤のデータを読み取ることができない。

これが文明をもつ「彼ら」のものだとしたら、何を記しているのだろうか。

今はまだわからないが、円盤の前に「うさぎ」たちは各々に思いを馳せていた。